

## 石塔紹介

# 我が家の庚申塔

泥谷敏行

(会員 佐伯市弥生)

我が家の庚申塔は、旧家屋敷跡の山側、小谷近くに建立されている。通称、平原・淵脇と云われる場所にある。

石像の高さは一一〇cm、幅三六cmある。庚申塔の頭上には、日輪が描かれており、左右の六本の腕には剣や錫杖を持っている。



我が家の庚申塔

前面に人物像が二体描かれている。足下には無言猿、無見猿、無聞猿の三猿の像が彫られている。

側面には「施主、泥谷喜左衛門」と刻字されており、製作年として「安永八己亥」の文字がみえる。

安永八己亥年は西暦一七七九年で、今から二三三年前のことである。



江戸時代の祖先が、豊作と除災祈願のためこの塔をたて祀ったものと考えられる。